

# 2023 年の天文現象

月 日	天文現象	備考
1月 4日	しぶんぎ座流星群が極大 <small>りゅうせいぐん きょくだい</small>	月明かりの影響で条件が悪い。 4日午後1時ごろが極大（ピーク）と予想されている。 4日明け方（午前4時台・5時台）が観望好機。
4月 12日	水星が東方最大離角 <small>とうほうさいだいらかく</small>	太陽の東側に最も離れる（0.1等）。 夕方、西の空に低く見える。
6月 4日	金星が東方最大離角 <small>とうほうさいだいらかく</small>	太陽の東側にもっとも離れる（-4.4等）。 宵の明星として、夕方、西の空に輝く。
8月 13日 ～14日	ペルセウス座流星群が極大 <small>りゅうせいぐん きょくだい</small>	月明かりの影響は少なく、条件は良好。 13日午後5時ごろが極大（ピーク）と予想されている。 13日の午後9時ごろから14日明け方にかけて観望好機。
9月 29日	中秋の名月（十五夜）	月の出：17時32分 月の入：4時54分（9月30日）
10月 24日	金星が西方最大離角 <small>せいほうさいだいらかく</small>	太陽の西側にもっとも離れる（-4.5等）。 明けの明星として、明け方、東の空に輝く。
10月 29日	部分月食 <small>ぶぶんげっしょく</small>	29日午前4時34分から部分月食。 月の位置が低いので、見晴らしの良い場所で観望したい。
11月 3日	木星が衝 <small>しょう</small>	木星がおひつじ座で輝く（-2.9等）。 この頃、一晩中見えて観望好機。
12月 14日 ～15日	ふたご座流星群が極大 <small>りゅうせいぐん きょくだい</small>	月明かりの影響がなく、条件は最良。 15日午前4時ごろが極大（ピーク）と予想されている。 14日夜から15日明け方にかけて観望好機。